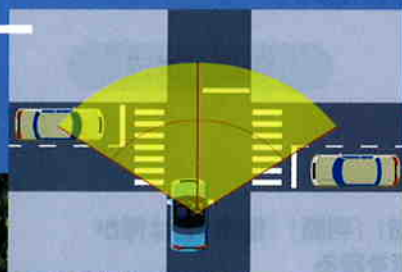


(財)全日本交通安全協会推薦

検証 認知・判断ミスが 事故を呼ぶ!



15分 価格(税込) ビデオ 63,000円 字幕版 63,000円
DVD 63,000円

製作 ■ 新生映画株式会社

検証 認知・判断ミスが事故を呼ぶ!

製作意図

交通死亡事故は年々減少傾向にあります。逆に交通事故件数及び負傷者数は増加しています。

そして車両単独事故を除く交通事故のおよそ八割が、「危険に気付かなかった」「危険の発見が遅れた」と言う『認知ミス』が原因で起きていると言われていています。ドライバーは『認知』『判断』『操作』と言う手順を繰り返して、運転をしています。最初の段階の『認知』でミスをするとならば『判断ミス』『操作ミス』を誘発するのです。

ドライバーは複雑な交通状況の中で、瞬時に危険を察知しなければならないのです。

そこで本映画では、人は何故『認知ミス』を犯すのか、どうしたら『認知ミス』を防ぐことができるのか、事故事例を検証し、C・Gを効果的に使いながら、分かり易く具体的に解説。

すべてのドライバーに安全運転を訴えます。

映画の構成

■プロローグ

「見落とし」が事故を招く!

■何故『認知ミス』を起こすのか

○運転行動のメカニズム・・・『認知』『判断』『操作』とは何か

○事故事例を検証し、問題点と対策を探る

◇事故事例1・・・信号機の無い交差点での出会い頭事故

カーブミラーに頼りすぎ、結果として脇見運転となり、右から来る車と衝突。「見えたのに見なかった」事故と言えます。一方衝突相手も優先道路と言う意識と車は来ないと言う「思い込み」が判断ミス招いたのです。

◇事故事例2・・・歩行者の駐車車両からの飛び出しによる事故

飛び出した歩行者を咄嗟に回避しようとしても間に合わない。死角の陰には常に危険が潜んでいると認識し、危険を予測した防衛運転を心掛けましょう。

◇事故事例3・・・車線変更の際、後方から来た二輪車と接触した事故

バックミラーに頼り、死角に入った二輪車を見落としした。バックミラーだけに頼らず自分の目で確認をし、危険と感じたら二輪車に進路を譲りましょう。

又、二輪車は車体が小さく距離感が掴みにくく、注意が必要です。

◇事故事例4・・・追突事故

カーナビに気をとられ、ハンドルを握っていたため脇見運転。「認知」する行為を完全に忘れていたのです。運転中の携帯電話やメールも絶対にしてはいけません。又、考え事やボンヤリと言った「漫然運転」による事故も多発しています。

■肝心なものを「見落とさない」テクニック

確実に『認知』するためにはどのような事に心掛けたら良いか、交通場面に応じた注意点を明らかにします。

■エピローグ

なくせ!『認知ミス』

製作 ■ 新生映画株式会社

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町6-20-403
TEL 03(3464)4841 FAX 03(3464)4855

配給